

**令和3年度
岡山三川タイムライン振返り検討会説明資料**

検討会の目的、スケジュール

<検討会の目的>

- 本検討会では、令和3年度の出水期を振り返るとともに、事前のアンケートから得られたタイムラインに関する**運用上の課題や改善策**について、意見交換を行う。
- なお、コロナ禍を踏まえ、WEB会議形式で意見交換を行うため、**リアルタイムアンケート**を活用する。

<検討会スケジュール>

時間	検討内容
13 : 00~13 : 05	1. 開会挨拶
13 : 05~13 : 15	2. 令和3年度の出水概要
13 : 15~13 : 30	3. 振り返りアンケート結果の報告 ・アンケート結果について ・アンケート結果を踏まえた改善方針について
13 : 30~14 : 40	4. 振り返り
14 : 40~14 : 45	5. 連絡事項
14 : 45~14 : 55	6. 講評
14 : 55~15 : 00	7. 閉会挨拶

2. 令和3年度の出水概要

タイムラインの運用状況

■ 令和3年度の出水期において、台風や梅雨前線に対して計4回タイムラインを発動し、8月13日からの前線による出水時には旭川でタイムラインレベル4に移行した。

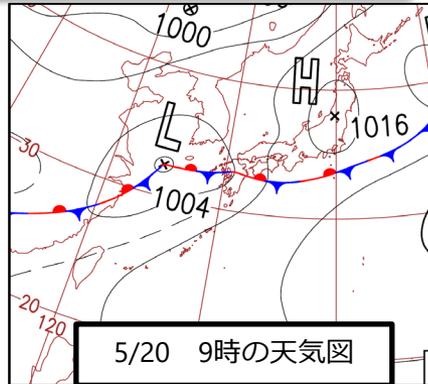
5月20日～21日（梅雨前線）

**5/20 19時
レベル1発動**

早期注意情報が、20日の夜から21日の夜遅くまでの間で「中」のため

5/21 11時 解除

岡山県内でまとまった雨が降る見込みがなくなったため



7月2日～19日（梅雨前線）

7/2 19時 レベル0-2発動

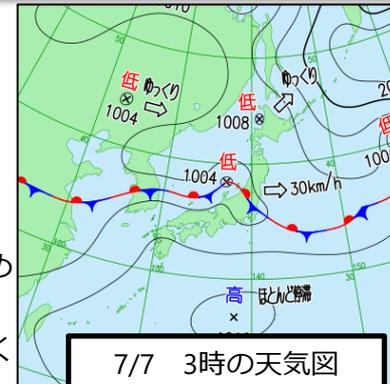
早期注意情報が3日の午後から「中」で、その後もまとまった降雨の可能性があるため

**7/5 16時、7/7 21時、
7/9 11時、レベル0-2継続連絡**

岡山県内の広い範囲で大雨が想定されるため

7/19 10時 解除

岡山県内でまとまった雨が降る見込みがなくなったため



8月5日～（台風第9号、前線）

8/5 19時 レベル0-1発動

台風の影響は10日降の見込みだが、連休前に各機関の調整を始める必要があるため

8/7 17時 レベル0-2移行

8/9 0時 レベル1移行

台風の接近に伴い警戒が必要であるため

8/10 12時 レベル0-2移行

8/13 22時 レベル1移行

前線によってまとまった降雨が見込まれるため

8/14 9時 レベル4移行（旭川）

土砂災害警戒情報が発令され、岡山市で避難指示を発令したため

8/15 18時 レベル0-2移行

天候は回復しているが、来週にかけて再び天候が悪くなる見込みのため

8/24 17時解除 岡山県内でまとまった雨が降る見込みがなくなったため



9月15日～（台風第14号）

9/15 10時 レベル0-1発動

台風が接近する予報となっており、警戒が必要であるため

9/16 17時、レベル0-2移行

台風が18日に岡山県に接近することが見込まれるため

**9/17 15時
レベル1移行**

台風が18日に岡山県に最接近することが見込まれるため

**9/18 3時
解除**

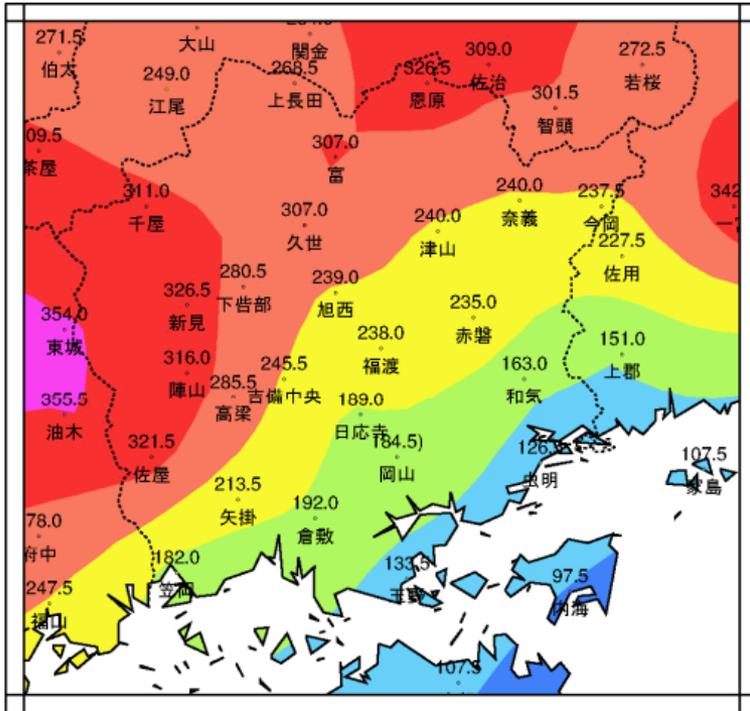
気象予警報が解除され、今後まとまった降雨が見込まれないため



岡山県に影響を及ぼした豪雨 令和3年8月の大雨について

- 8月11日から15日にかけて西日本付近に前線が停滞し、岡山県内では広い範囲で大雨となり、多いところで総降水量が300ミリに達した。また、津山では「月最大24時間降水量」の8月の極値を更新した。
- この大雨により、岡山市北区、津山市、井原市、総社市、高梁市、新見市、吉備中央町、鏡野町、浅口市、里庄町に避難指示が発令された。

○ アメダス期間降水量(8月11日19時～15日11時)



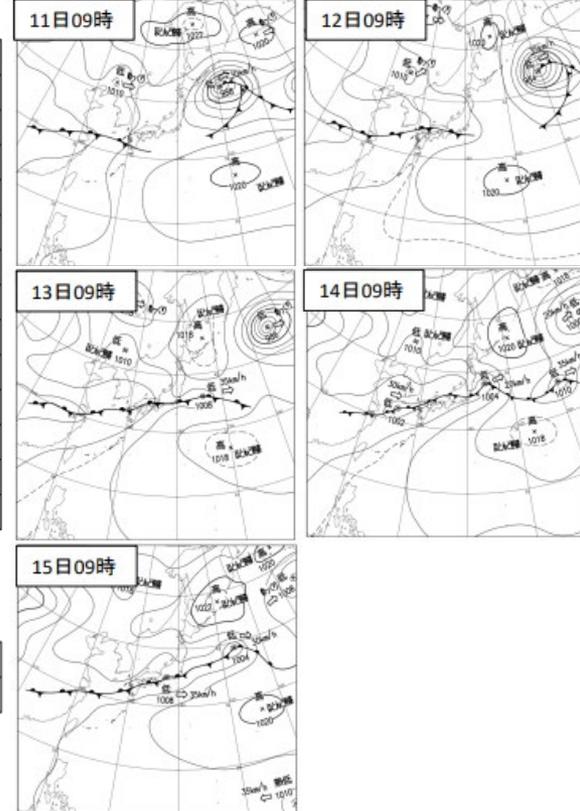
○ 8月の「日降水量」1位更新地点

地点名	降水量(ミリ)	起日	統計期間
津山	127.5	2021年8月14日	1943年8月～2021年8月
真庭市上長田	154.0	2021年8月14日	1979年8月～2021年8月
鏡野町恩原	198.0	2021年8月14日	1981年8月～2021年8月
新見市千屋	178.5	2021年8月14日	1979年8月～2021年8月
鏡野町富	176.0	2021年8月14日	2006年8月～2021年8月
真庭市久世	169.0	2021年8月14日	1976年8月～2021年8月
新見	177.5	2021年8月14日	1979年8月～2021年8月
真庭市下皆部	148.5	2021年8月14日	1976年8月～2021年8月
美咲町旭西	126.0	2021年8月14日	2010年8月～2021年8月
高梁市降山	167.0	2021年8月14日	1976年8月～2021年8月
吉備中央	103.5	2021年8月14日	2006年8月～2021年8月
高梁	126.0	2021年8月14日	1976年8月～2021年8月
岡山空港	72.5	2021年8月14日	2003年8月～2021年8月

○ 8月の「月最大24時間降水量」1位更新地点

地点名	降水量(ミリ)	起日	統計期間
津山	127.5	2021年8月14日	1950年8月～2021年8月

○ 天気図(令和3年8月11日09時～15日09時)



令和3年度岡山三川タイムライン読合せ訓練の実施概要

- 読合せ訓練を新型コロナウイルス感染防止対策としてWEB会議で開催(吉井川:9/8(水)10:00~12:00 旭川:9/10(金)10:00~12:00、高梁川:9/10(金)14:00~16:00 テレビ会議システム(Teams))
- 読合せ訓練では、防災行動共有システムを利用し、タイムラインレベルを移行しながら各機関が行う防災行動項目の確認・読合せと情報共有を行った。
- また、令和3年8月の大雨への出水対応において、各自治体が発令した避難情報のタイミングや発令判断の課題について意見交換を行った。
- 意見交換の中では、避難情報発令の判断について、気象予測等に基づいた早めの対応の必要性や夜間の避難は垂直避難の対応なども付加して、躊躇なく発令することなど意見が出された。

【吉井川水系 参加機関】

岡山市、津山市、備前市、赤磐市、美作市、和気町、奈義町、美咲町、岡山県警察本部、岡山地方気象台、中国電力(株)岡山支社、西日本電信電話(株)岡山支店、岡山ガス(株)、津山ガス(株)、西日本旅客鉄道(株)岡山支社、RSK山陽放送(株)、岡山県、岡山河川事務所、中国地方整備局苫田ダム管理所
計19機関

【旭川水系 参加機関】

岡山市、鏡野町、美咲町、久米南町、岡山地方気象台、陸上自衛隊日本原駐屯地、中国電力(株)岡山支社、岡山ガス(株)、岡山電気軌道(株)電車事業本部、(株)岡山シティエフエム、山陽SC開発(株)(岡山一番街)、岡山県、岡山河川事務所
計13機関

【高梁川水系 参加機関】

倉敷市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、矢掛町、岡山地方気象台、中国電力(株)岡山支社、岡山ガス(株)、(一社)岡山県LPガス協会、テレビせとうち(株)、玉島テレビ放送(株)、笠岡放送(株)、(株)吉備ケーブルテレビ、高梁川用土地改良区、中国四国農政局、岡山県、広島県、岡山河川事務所
計21機関



【西山座長による講評】



【前野アドバイザーによる講評】



【WEB会議の開催状況】



【防災行動共有システムを用いた読合せ訓練】



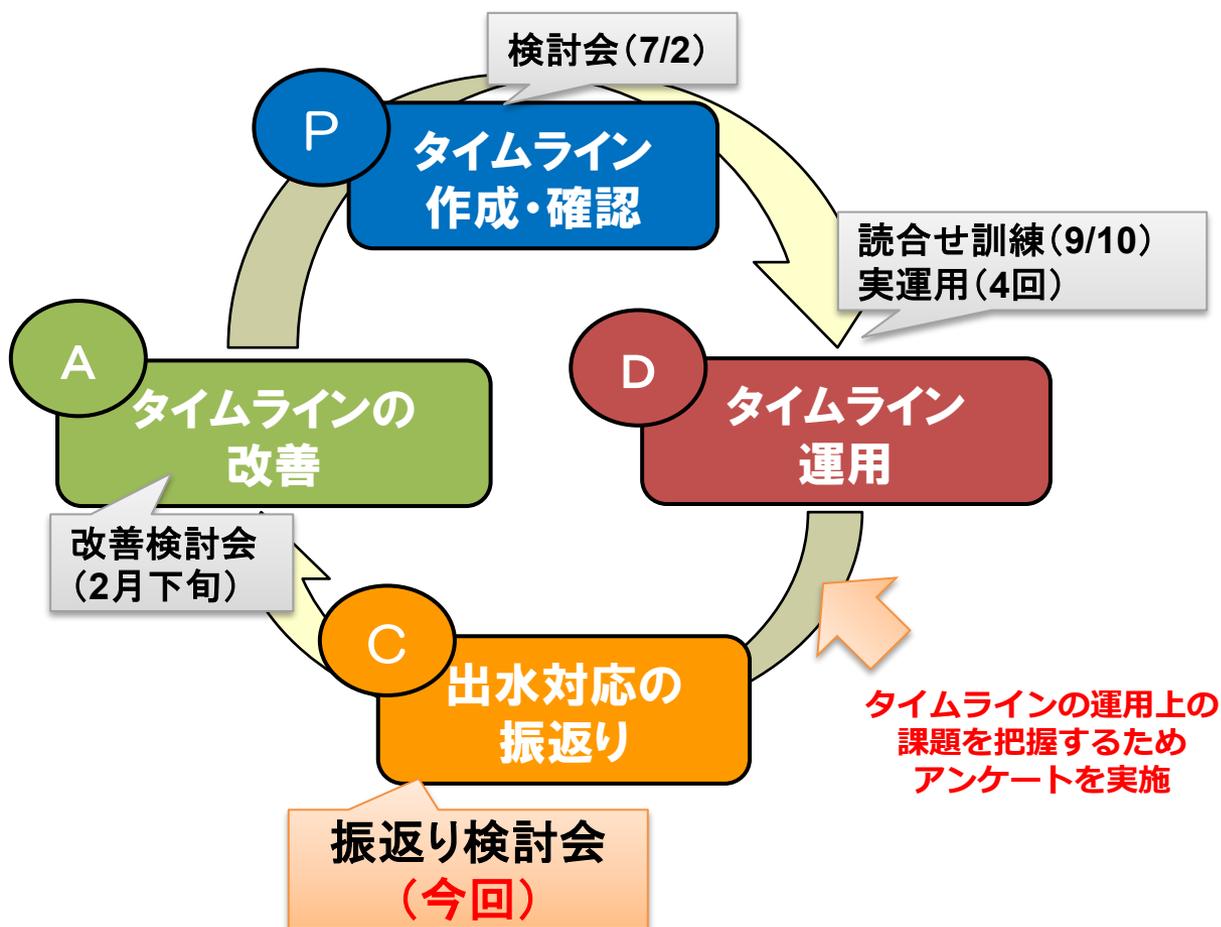
【8月出水時の避難情報について意見交換】

3. 振返りアンケート結果の報告

アンケートの目的

- 令和3年度出水期は計4回タイムラインを運用したものの、さらなる効果的なタイムラインの運用に向けて、タイムラインの運用上の課題を把握することを目的としたアンケート調査を実施した。（実施期間:9/21~10/1）

■タイムライン全体の方針



タイムラインの改善に対する本年度の視点

作成フェーズ

これまで

タイムライン自体の改善
(行動項目の追加・修正など)

運用フェーズ

本年度以降

タイムライン運用上の改善
(いかにタイムラインを上手に運用するか)

令和3年度出水対応振り返りアンケート結果（1/3）

■タイムライン発動メールについて

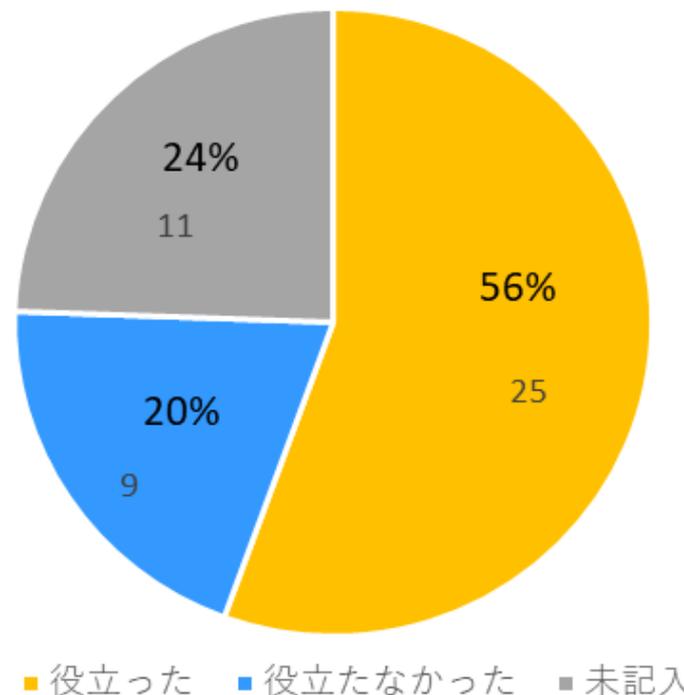
- 防災行動項目の確認に役立つという前向きな意見もあるものの、6割弱に留まった。
- 気象・水象情報から必要な対応を行っているなど、タイムライン以外の他のシステムから情報を得て対応しているなどの意見があった。

<設問>

タイムライン発動メールを「確認した」と回答した方は、メールによる情報が出水対応に役立ちましたか？

選択肢	回答数
役立った	25
役立たなかった	9
未記入	11

タイムライン発動メールが役に立ったか



令和3年度出水対応振り返りアンケート結果（2/3）

■タイムラインに基づく防災行動の実施について

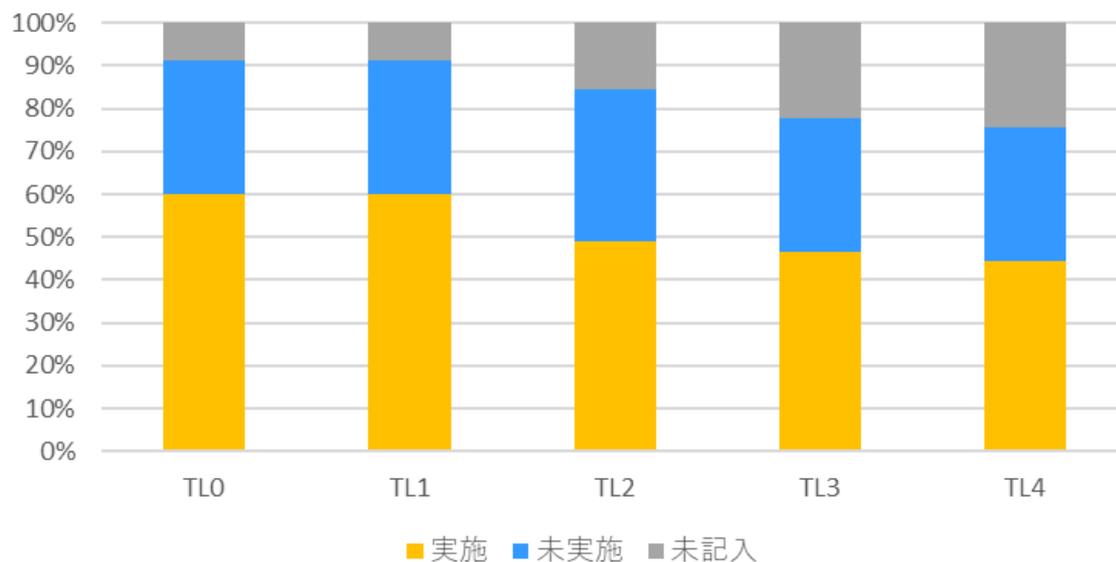
- ▶ タイムラインレベルが上がるにつれ実施割合が低下している。（※これは、出水の状況によりタイムラインレベルが上がっていない自治体があることが理由と思われる）
- ▶ 未実施の意見として、「タイムラインは参考」「別のマニュアルで対応」などの意見があり、**実際の防災行動とタイムラインの防災行動を別物である**といった認識がある。

<設問>

8月12日からの大雨における出水対応について、タイムラインに沿った防災行動項目を実施したか？

選択肢	タイムラインレベル				
	0	1	2	3	4
実施	27	27	22	21	20
未実施	14	14	16	14	14
未記入	4	4	7	10	11

タイムラインに基づく防災行動項目の実施



令和3年度出水対応振り返りアンケート結果（3/3）

■タイムラインに基づく情報の受発信について

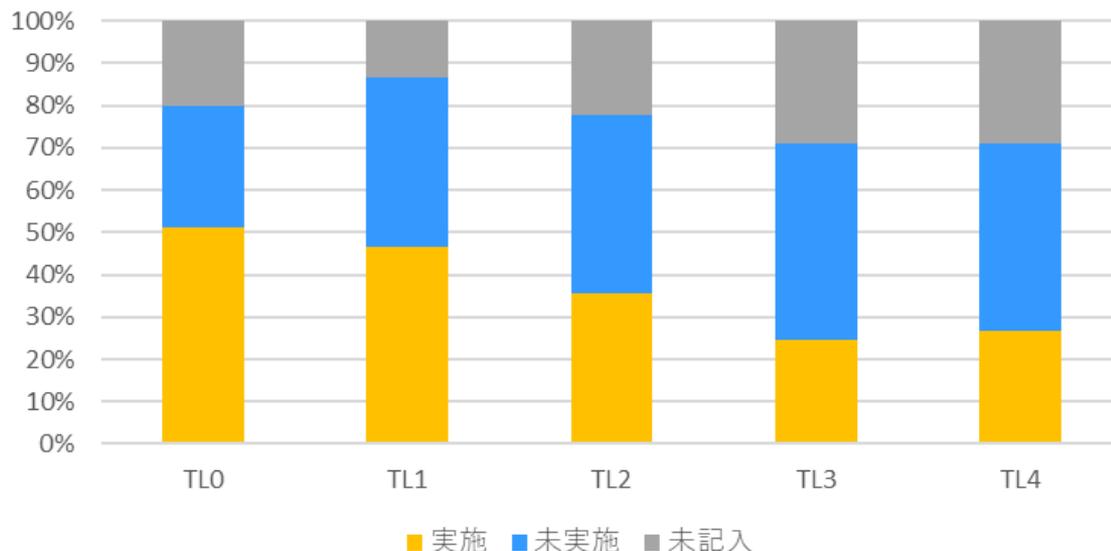
- ▶ タイムラインに基づく防災行動の実施割合より、情報の受発信の実施割合は低い。
- ▶ タイムラインレベルが上がるにつれ未実施の割合が上がった。（※これは、出水の状況によりタイムラインレベルが上がっていない自治体があることが理由と思われる）
- ▶ 未実施の意見として「入力の余裕がない」「他システム・別マニュアルで対応」など、防災行動共有システムやメールによる情報受発信は、実施が難しいといった意見があった。

<設問>

8月12日からの大雨における
出水対応について、
タイムラインに基づき、
情報の受信・発信を行ったか？

選択肢	タイムラインレベル				
	0	1	2	3	4
実施	23	21	16	11	12
未実施	13	18	19	21	20
未記入	9	6	10	13	13

タイムラインに基づく情報の受発信



出水対応に関するアンケート結果まとめ

アンケート結果

タイムライン発動時のメールについて

- 6割が役立ったとの意見があった
- 役立たなかった理由として、**自機関の防災行動のトリガーにならないこと**や、他システムより情報を収集しているとの意見があった

出水対応・情報受発信について

- **出水対応が5割程度、情報受発信が4割程度が実施できた**との回答であった
- 実施できなかった理由として、**タイムラインを活用できなかったこと**や**人員不足**との意見があった

改善方針（案）

各機関におけるタイムライン運用方法の工夫

- 円滑な出水対応に向けて、**各機関でタイムラインを運用するにあたって工夫していること**（自治体版タイムラインの作成事例等）について意見交換する。
- 地域防災計画等にタイムラインを位置付けを行っている事例を周知する。

出水対応を踏まえたタイムラインの改善

- **防災行動項目を再認識・精査**し、防災計画やタイムライン等の各種ツールの改善を図るためには、出水対応の検証（ふりかえり）が重要である。効果的な出水対応の振返りに向けて、**各機関の振返り方法**等について意見交換する。

課題

タイムラインの運用方法が不明瞭となっている

- ✓ 発動・レベル移行メールを踏まえ、**各機関でどのようにタイムラインを運用するか不明瞭**となっている
- ✓ 既往の**防災計画とタイムラインの防災行動を別物**であるといった認識から、各機関でどのようにタイムラインを運用するか不明瞭となっている

運用時に使いづらいタイムラインとなっている

- ✓ 多機関の行動項目が記載され、行動項目が多いため、**タイムラインの使いづらさ**があり、多忙・人員不足の中でタイムラインを活用できなくなっている

防災行動共有システム動作状況に関するアンケート結果

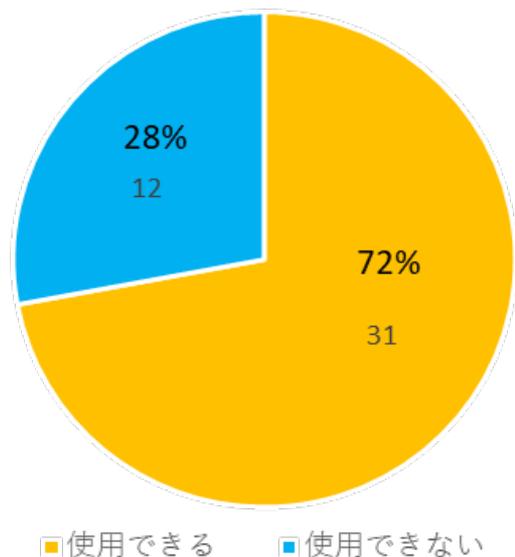
■ 防災行動共有システムの使用可否について

- 防災行動共有システムが問題なく使用できている機関は7割程度。

- 使用できない機関のうち、4割程度がログイン後、何も操作をしなくてもログアウトしてしまう現象であった。
- その他として、市のセキュリティによるブロックや、IE使用時のみログアウトが発生するといった回答があった。

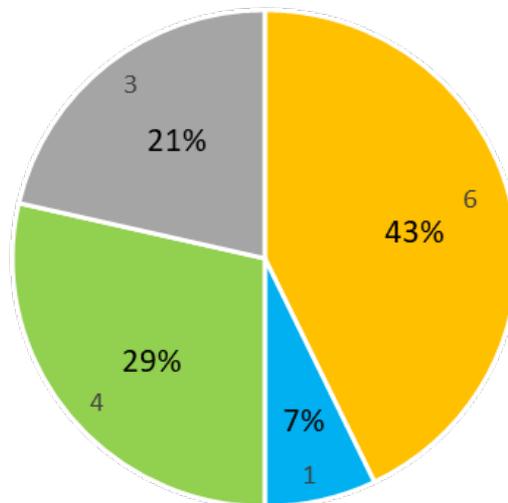
<設問>

防災行動共有システムについて、各機能は問題なく使用できますか？



<設問>

使用できない状況について該当するものを全て選択してください。



- ログイン後、何も操作をしなくてもログアウトしてしまう。
- ログイン後、読み込み時間が長くタイムアウトしてしまう。
- アンケート機能について、回答後の「完了」のボタンが押せなくなってしまう。
- その他

対応

IEの動作環境により、ログイン画面に戻ってしまう現象を確認。
システム動作部分のプログラムの修正対応を実施

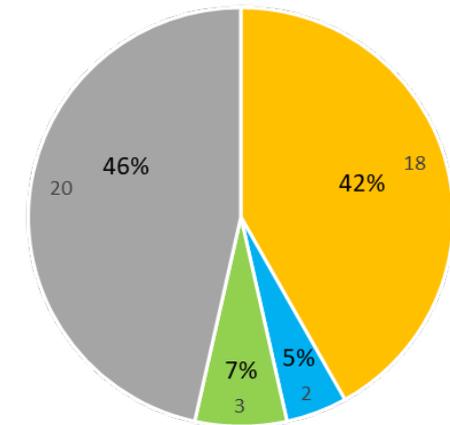
ポータルサイト活用状況アンケート結果（1/3）

■ポータルサイトのリンク集とマルチ画面の活用について

- 約半数が活用
- 活用しなかった理由として、マルチ画面は1画面が小さい、他システムやブックマークで確認しているため必要ないとの意見があった。

<設問>

使用できない状況について該当するものを全て選択してください。



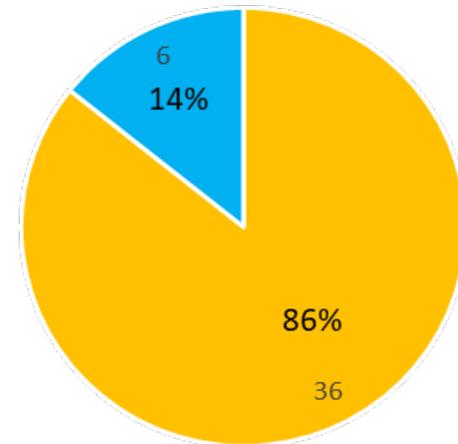
- リンク集・マルチ画面ともに活用した
- マルチ画面は活用したが、リンク集は活用しなかった
- リンク集は活用したが、マルチ画面は活用しなかった
- リンク集・マルチ画面ともに活用しなかった

■ポータルサイトのリンク集とマルチ画面の必要性について

- リンク集・マルチ画面は必要だと思うとの回答がほとんど。
- 必要ではないと回答した理由として、他システムやブックマークで情報を確認していること、見難い、知らなかったとの意見があった。

<設問>

リンク集、マルチ画面は必要な機能だと思いますか？



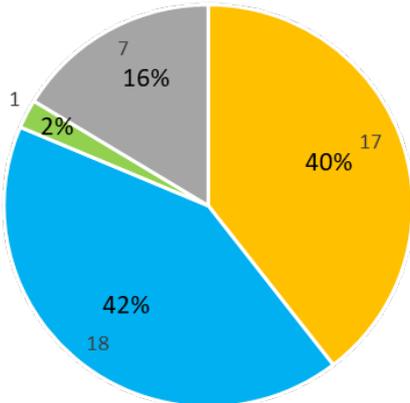
- リンク集・マルチ画面ともに必要だと思う
- リンク集・マルチ画面ともに必要ないと思う

ポータルサイト活用状況アンケート結果 (2/3)

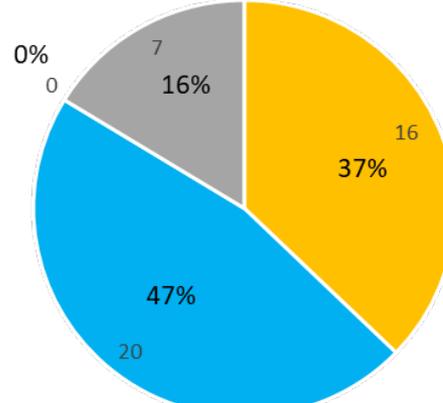
■ 防災行動共有システム「確認機能」の活用状況、必要性

- 活用した+活用しなかったが必要との回答が8割。
- 登録機能、発信機能、資料機能は、活用した機能の割合が少ない。
- 各機能として必要ではないとの理由として、知らなかったや、他システム等で十分であるとの意見が多かった。

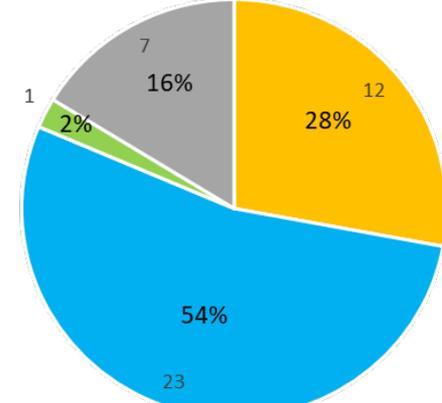
確認機能



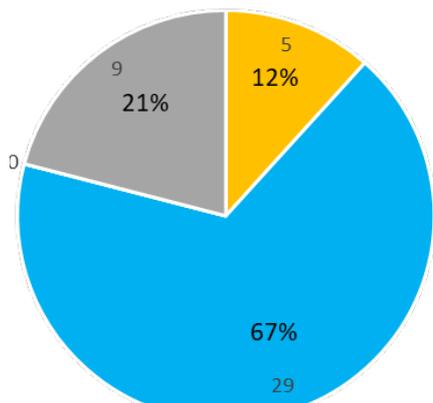
レベル確認機能



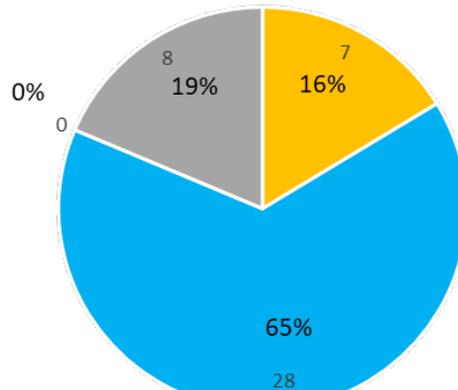
登録機能



発信機能



資料機能



- タイムライン発動時に活用し、今後も必要な機能だと思う
- タイムライン発動時に活用しなかったが、今後は必要な機能だと思う
- タイムライン発動時に活用したが、今後は必要ではない機能だと思う
- タイムライン発動時に活用しておらず、今後も必要ではない機能だと思う

ポータルサイト活用状況アンケート結果 (3/3)

区分	主な意見
余力がない	✓ 水防活動や避難所開設、住民やマスコミからの問い合わせ等に追われており、防災行動共有システムに入力する余裕は無い。
	情報共有という観点から、システム活用の重要性、有益性は認識しているが、実際の災害時にはより優先度の高い業務に就くため、全く活用できていないのが現状である。
	気象状況や川の水位等を分単位で随時確認する必要があるような状況の時にリアルタイムにシステムを入力する作業に手をとられるのは実際厳しいと感じる。
システムの一元化	システム入力に伴い、災害対応人員が不足するため、岡山県総合防災情報とシステムを一元化してほしい。
	岡山三川水害タイムラインポータルサイトについて、良いシステムとは思いますが、他のシステムや情報確認サイトがあり、活用はできていない。今後、県単位で統一したシステムがあれば活用がしやすい。
	岡山県総合防災情報システムと重複している機能もあるため、利用システムの一本化を望みます。
機能の追加希望	各機関の防災行動内容については、各機関がどのような場合にどのように行動するのが共有でき有効であるため、各機関の手間のかからない方法で、共有できることを望みます。
	災害ごとの対応記録が残せて、画面上で即時に閲覧することが可能な機能があれば、活用しやすくなるのではないかと
システムの不具合	防災行動共有システムのログイン後、数十秒でログイン状態が解除されてしまうため、無操作でもログイン状態が解除されない時間を10分以上に伸ばしてほしい。
	インターネット制限により利用できていませんが、うまく活用できれば、特にリンク集やマルチ画面は良い機能だと思っています。
その他	防災行動共有システムは全ての団体がシステムを随時入力できるのであれば非常に有効であると考えます。 しかしながら、今回台風第14号の確認を見る限り対応している団体はごく一部であり、情報共有の点で有効かどうかといえは有効ではなかったと感じる。

ポータルサイトに関する課題と改善方針

アンケート結果

リンク集・マルチ画面

- リンク集・マルチ画面は**必要だ**と思うとの回答が8割程度
- 必要ないとの理由として、マルチ画面は**1画面が小さい**という意見、**他システムやブックマーク等で情報収集が可能**であるといった意見があった

防災行動共有システム

- いずれの機能についても、**活用している**との回答は2割程度、**必要**との回答が7割程度
- 活用している機関は少なく、特に**人的な操作が必要な登録機能、発信機能**は、**人的な余裕がない**ことや**岡山県総合防災情報システムの入力、従来の情報伝達**を行っていることが活用できない・必要ない理由として挙げられている
- 一方で、**全ての機関がシステムに随時入力が可能であれば、有効**であるとの意見もある

課題

運用時の連携がおろそかになっている

- ✓ タイムライン策定時における連携方法として、**メールやリストやシステムによる情報発信・共有**を定めていたが、**従来の情報共有方法（県システム、FAX・電話等）**により**作業が重複する場合**もあり、**効率的に情報共有が出来ていない**。

改善方針（案）

運用支援ツールの改善

- ✓ 情報共有における**作業の重複の解消**に向けた、**Lアラートを活用した防災行動共有システムの自動化**について、意見交換する。
- ✓ **WEB会議による情報や危機感の共有**に向けて、意見交換する。

アンケート結果全般まとめ

各機関におけるタイムライン運用方法に関する課題

既往の防災行動とタイムラインの防災行動を別物として運用しているといった意見があり、各機関でタイムラインをどのように運用すべきか不明瞭になっている可能性がある。

(アンケート意見)

- 実際に行動には、実際の状況とマニュアルにそって、行動を行うため、参考にさせていただいています。今後、全体的にシステムの統一と、避難情報などについて地域の気象や状況を確認しながら、避難情報について統一して、提供が行えれば良い。
- タイムラインの行動項目は、情報収集、災害対策本部設置準備、避難所開設準備、防災関連情報の放送等、ごく一般的な項目が多くあり、タイムラインを参照せずとも災害時には対応できている。

出水時におけるタイムラインの使い勝手に関する課題

出水対応で多忙な中で、現在のタイムラインやシステムを運用した防災行動の確認等の対応が困難との意見があり、運用時に使用しづらいタイムラインとなっている可能性がある

(アンケート意見)

- 災害時は、各機関ともに多忙であるため、タイムラインの確認や発信する余力がない。手が回らなかった。

タイムラインの運用時の連携に関する課題

タイムライン運用時における多機関連携として、メーリングリストやシステムによる情報発信・共有を定めていたが、従来の情報共有(県システム、FAX・電話等)により余力がないとの意見があり、運用時の連携がおろそかになっている可能性がある。

(アンケート意見)

- 水位情報に関しては「おかやま防災ポータル」で一般公開されている上、氾濫危険水位に達した場合等は報道発表し、関係機関以外に対しても十分に情報発信できているため、タイムラインのメーリングリスト等でまで情報発信する必要が無い。
- 各機関の防災行動内容については、各機関がどのような場合にどのように行動するのが共有でき有効であるため、各機関の手間のかからない方法で、共有できることを望みます

岡山三川タイムラインが該当する可能性がある機能不全のタイムライン

各機関におけるタイムラインの運用方法に関する課題

既往の防災行動とタイムラインの防災行動を別物として運用しているといった意見があり、各機関でタイムラインをどのように運用すべきか不明瞭になっている可能性がある。

➡ ①タイムライン運用方法が不明瞭になっている

出水時におけるタイムラインの使い勝手に関する課題

出水対応で多忙な中で、現在のタイムラインやシステムを運用した防災行動の確認等の対応が困難との意見があり、運用時に使用しづらいタイムラインとなっている可能性がある

➡ ②運用時に使いづらいタイムラインとなっている

タイムラインの運用時の連携に関する課題

タイムライン運用時における多機関連携として、メーリングリストやシステムによる情報発信・共有を定めていたが、従来の情報共有(県システム、FAX・電話等)により余力がないとの意見があり、運用時の連携がおろそかになっている可能性がある。

➡ ③運用時の連携がおろそかになっている

機能不全のタイムライン

①

運用を意識したTL検討ができていない

- ◆TLの作成時にその機関の代表者しか参加しておらず、出来上がったものを持ち帰って機関内の各部署や担当者に伝えていない、記載されている行動を確認していない、または検討内容を共有していない。
- ◆防災部局でもTL策定当時の職員が異動しており、TLの意義や策定経緯、各行動項目の内容が共有されていない。
- ◆ゼロアワーや防災行動は逆算であることを認識していない。

②

運用時に使いづらいTLを作成している

- ◆首長は全体を俯瞰し調整と進行管理をすべきところ、それに対応した総括表等のTLの様式が無いために、前線基地に立ち入り続け、結果とし指揮命令系統や報告に混乱を来し、機能低下を招く。
- ◆総括表で全体像を把握せず、個々の行動のみに囚われてすぎている。
- ◆ひとつの様式にすべてを記載しようとするため、記載されている項目が多くなり、紙でもPC画面でも自機関の行動を見つけにくくなっている。

「ふりかえり」を意識していない

- ◆防災対応の記録を整理しておらず、振り返りの検討会直前に思い出す作業をしている。
- ◆PDCAを意識していない。

TL運用方法が不明瞭になっている

- ◆TLとは別に、TLとの相関が不明確な機関独自(元々あった)のマニュアル・計画・チェックリスト等も使っている。
(計画のダブルスタンダード問題)
- ◆各行動項目の機関内の責任者が不明確で、誰も機関内の進行管理をしない。
- ◆行動に必要な時間を逆算して策定していることを理解していないため、ゼロアワーまで「まだ何時間もある」と捉え対応がなくなる。
- ◆TL記載の行動項目のタイミングが、その行動の準備なのかスタートなのか確認のかがわからない。

③

運用時の連携がおろそかになっている

- ◆多機関連携では、特に防災部門以外のセクションで、TLによる進行管理に「やらされ感」をもつところがある。
- ◆当該項目の実行には他機関の行動が関連することを協議の上で定めているのに、他機関の動きを入手できていない。
- ◆その一方、避難情報発令については、隣接自治体の動向が気になって、直接、電話で情報共有したりしている。
- ◆行動項目を実行するかどうかは各機関の判断に任されているが、自機関の行動の有無が他の機関に影響することを、策定時には理解したものの、本番では考慮しないことがある。

令和3年度タイムライン運用上の課題と改善方針（案）

- アンケート結果等により、以下の通り大きく3つのタイムラインの運用上の課題を確認した。振り返り検討会では、以下の改善方針(案)について、タイムライン関係機関で意見交換を行い、改善を図る。

タイムラインの運用上の課題

①タイムライン運用方法が不明瞭になっている

- ✓ タイムラインとは別に、タイムラインとの相関が不明確な機関独自の既存マニュアル・計画・チェックリスト等も使っている。

②運用時に使いづらいタイムラインとなっている

- ✓ ひとつの様式（タイムライン詳細）にすべてを記載しようとするため、記載されている項目が多くなり、紙でもPC画面でも自機関の行動を見つけにくくなっている。

③運用時の連携がおろそかになっている

- ✓ タイムライン策定時における連携方法として、メールやシステムによる情報発信・共有を定めていたが、従来の情報共有方法（県システム、FAX・電話等）により作業が重複する場合もあり、効率的に情報共有が出来ていない。

改善方針（案）

①各機関におけるタイムライン運用方法の工夫

- ✓ 円滑な出水対応に向けて、各機関でタイムラインを運用するにあたって工夫していること（自治体版タイムラインの作成事例等）について意見交換する
- ✓ 地域防災計画等にタイムラインを位置付けを行っている事例を周知する。（手引きP20紀宝町の事例）

②出水対応を踏まえたタイムラインの改善

- ✓ 防災行動項目を再認識・精査し、防災計画やタイムライン等の各種ツールの改善を図るためには、出水対応の検証（ふりかえり）が重要である。効果的な出水対応の振り返りに向けて、各機関の振り返り方法等について意見交換する。（手引きP18、19）

③運用支援ツールの改善

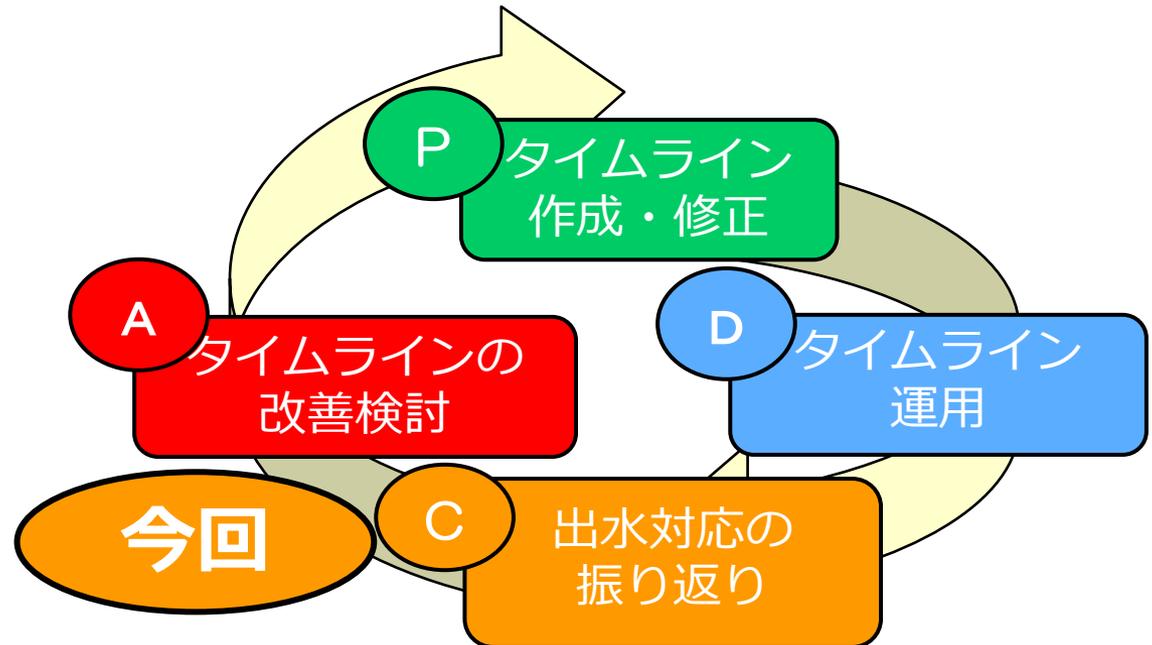
- ✓ 情報共有における作業の重複の解消に向けた、Lアラートを活用した防災行動共有システムの自動化について、意見交換する。
- ✓ WEB会議による情報や危機感の共有に向けて、意見交換する。（手引きP13）

4. 振返り（意見交換）

振返りの目的

- タイムラインの改善に向けて、以下の各テーマについて今年度出水対応を振り返りながら、アンケート結果を踏まえた意見交換を行う。

タイムラインは、
PDCAにより
スパイラルアップして
いくことが重要



<今回の振り返りで議論するテーマ>

- テーマ1：各機関におけるタイムライン運用方法の工夫
- テーマ2：出水対応を踏まえたタイムラインの改善
- テーマ3：運用支援ツールの改善

振返りの方法

- 各テーマに関する質問に対してリアルタイムアンケートツールを用いて各機関が回答し、その内容について意見交換を行う。

スマホから回答する場合

QRコードからWEBサイトにアクセス



PCから回答する場合

teamsのチャットに投稿されているURLからWEBサイトにアクセス



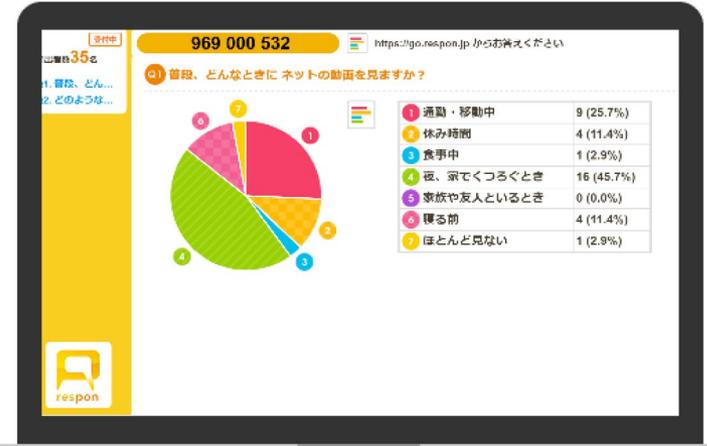
STEP1



WEBサイトから回答・提出

配布した機関毎ID,PWでログイン

STEP2



回答の状況がリアルタイムに集計

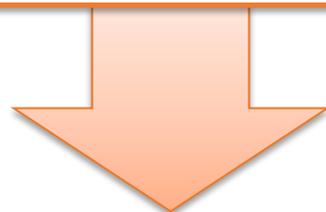
回答や意見がリアルタイムに集約された画面をteamsで共有する。
集計結果等を用いて意見交換を行う。

STEP3

テーマ1：各機関におけるタイムライン運用方法の工夫

課題：タイムライン運用方法が不明瞭になっている

- タイムラインとは別に、タイムラインとの相関が不明確な機関独自の既存マニュアル・計画・チェックリスト等も使っている。（計画のダブルスタンダード問題）



<振り返りの内容>

- ① 円滑な出水対応に向けて、各機関でタイムラインを運用するにあたって工夫していること（自治体版タイムラインの作成事例等）について意見交換する
- ② 地域防災計画等にタイムラインを位置付けを行っている事例を周知する。

参考

既存の防災行動とタイムラインとの関係

- 現在の多機関連携型タイムラインは、各機関の防災計画・地域防災計画から、多機関に係る行動項目を中心に抜粋したものとなっている。

地域防災計画・防災計画とタイムラインとの関係

- ✓ タイムラインで整理されている防災行動項目は、地域防災計画から**多機関が関わる行動項目を抽出**したもの
- ✓ タイムライン上で**流域関係機関の行動**が見える化することにより、流域関係機関の連携対応を把握することができ、地域防災計画上の**多機関が関わる行動項目**を**効率的・効果的に実施**することが可能

地域防災計画
防災計画

多機関が関
わる行動項
目を抽出

TL No.	No.	名称	担当	実施日
シシノ0	1	防災訓練・注意喚起の促進【恒例】	防災	10/10
シシノ0	2	平時は無事（避難時の対応）の確保	防災	10/10
シシノ0	3	タイムライン立ち上げ（レベル0の移行）の策定	防災	10/10
シシノ0	4	防災訓練や、平時は無事（避難からの対応）	防災	10/10
シシノ0	5	防災訓練のスケジュールの設定	防災	10/10
シシノ0	6	タイムライン立ち上げ（レベル0（3日前準備））	防災	10/10
シシノ0	7	事後の分析の開始	防災	10/10
シシノ0	8	災害対策本部等の設置準備	防災	10/10
シシノ0	9	災害対策本部等の設置準備	防災	10/10

留意点

タイムラインで整理されている防災行動項目や実施のタイミングは、**各機関の防災マニュアル等に記載されている内容と整合を図る**必要があります。

計画やマニュアルを見直した場合は、タイムラインとの整合を確認し事務局に報告をお願いします。

テーマ1：各機関におけるタイムライン運用方法の工夫

＜リアルタイムアンケートを用いて意見を伺います。＞

Q1：岡山三川タイムラインを踏まえて、各機関のタイムラインを作成していますか？

- 作成している
- 作成していない
- 今後、作成したいと考えている



Q2：円滑な出水対応に向けて、各機関でタイムラインを運用するにあたって工夫していることはありますか？

- 工夫していることがある
- 工夫していることはない
- 分からない

Q3：Q2で「工夫していることがある」選択した場合は、工夫している内容を、「工夫していることはない」「分からない」を選択した場合は、その理由をお答えください。
(自由記入)

各機関タイムラインを作成している事例 (高梁市水害タイムライン)

情報の伝達・発信



■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上

高梁市水害タイムライン

- ・「高梁川水害タイムライン」を基に、高梁市の災害対策本部全班の防災行動について318項目の行動手順を時系列に整理。
- ・令和元年度9月から正式に運用開始。令和3年度は3回発動。
- ・災害対応のトリガーとして有効である一方、レベルが進んだ時の進捗管理が課題となっている。
- ・毎年見直しを行い、出水対応に活用していく。

タイムラインレベル	警戒レベル	目標	情報・状況	対応行動		役割																	
				行動項目 (第1階層)	行動細目 (第2階層)	No	行動手順・内容 (第3階層)	本部 班	広報 班	総務 班	財政 班	調査 班	協力 班	農林 班	農工 班	土木 班	その他 班						
レベル0 (3日前準備)	-	内部調整	・早期注意情報(監視級の可能性) ・3日後に台風や大雨が高梁市に影響する恐れ	情報の収集	気象・台風情報の収集	1	全館・地方・府県気象情報、台風情報、台風5日進路予想、週間予想の確認	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取					
					気象監視・注意情報の収集【継続】	2	早期注意情報(警戒級の可能性)の確認	取															
					タイムライン立ち上げ(レベル0移行)の意思決定	立ち上げの意思決定	3	タイムラインの立ち上げ協議(レベル0(3日前準備))	◎														
						立ち上げの意思決定	4	台風進路予測、早期注意情報等から0hの設定	◎														
					意思決定	5	防災体制のスケジュールの設定	◎															
					意思決定の周知	6	タイムライン立ち上げ(レベル0(3日前準備))の周知	発	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受		
				災害対策本部等の設置準備	災害対策本部等の設置準備	会議室の確保	8		◎														
						連絡網の用意	9		◎														
						本部設置の事前周知	10		◎														
					資機材の準備	水防資機材の確保	11															◎	
						体制の構築準備	12	職員体制の確保														◎	
						人員の確保	13															◎	
				水防活動の準備	希望住民への土のう配布	土のう・資機材の準備	14															◎	
						土のうの配布	15															◎	
					対応状況の伝達	16	土のう配布状況の伝達															発	
					河川敷の設備等撤去の検討	設備等撤去時期の決定	17																◎
						受注者への準備連絡	18																◎

地域防災計画にタイムラインを位置付けている事例 (高梁市地域防災計画 風水害対策編P61)

第3編 災害応急対策計画

第1章 防災組織

第1 防災体制

防災関係機関は、災害の発生防御及び拡大防止について、迅速かつ実効ある措置を実施するための体制について定め、防災関係機関の相互の連絡体制を確立し、的確な災害応急活動を行う。

1 市の防災組織と防災体制

市の地域に災害が発生し、又は発生のおそれがある場合で、市長が必要と認めるときは、災害対策基本法の規定により市災害対策本部を設置し、災害発生のおそれが解消し、又は災害応急対策がおおむね完了したと認められるときは、これを廃止する。

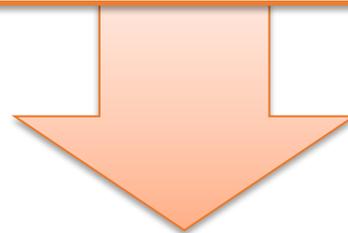
また、非常体制に至るまでの体制としては、気象又は事故災害等の状況に応じて、注意体制、警戒体制、特別警戒体制に区分し対処することとして、非常参集体制の整備、**タイムライン及び活動マニュアルの作成等防災活動に即応できるよう定める。**

なお、気象庁から発表される台風進路予測や前線性降雨等による出水状況を勘案し、高梁市水害タイムラインにより本部各班の防災活動に取り組むほか、高梁川沿川の関係機関が参画した高梁川水害タイムラインにより、関係機関との防災活動の実施状況の共有を行う。

テーマ2：出水対応を踏まえたタイムラインの改善

課題：タイムライン運用方法が不明瞭になっている

- ひとつの様式（タイムライン詳細）にすべてを記載しようとするため、記載されている項目が多くなり、紙でもPC画面でも自機関の行動を見つけにくくなっている



<振返りの内容>

- ✓ 防災行動項目を再認識・精査し、防災計画やタイムライン等の各種ツールの改善を図るためには、出水対応の検証（ふりかえり）が重要である。効果的な出水対応の振返りに向けて、各機関の振返り方法等について意見交換する。

タイムラインを活用した出水対応の記録、振り返り

- 出水対応の検証（振り返り）を行うためのクロノロジーを作成する際に、タイムラインの活用が可能である。
- また、各機関・部署の出水対応の全体像が示されているタイムラインがあることで、効率的に振り返り（課題やその要因、改善点の抽出）が可能である。

出水対応の記録にタイムラインが活用可能

- A. 「チェック欄」
 行動項目に漏れがないよう、実施した行動についてチェックをつけます。
- B. 「実施状況チェック欄」
 行動開始時刻と終了時刻を記入します。
- C. 「行動項目追加欄」
 タイムライン記載以外で実施した行動を追記します。合わせて、対応機関、実施開始時刻、終了時刻も記入します。
- D. 「メモ欄」
 課題や改善点等を記入する欄として使用します。

タイムライン （実施時刻）	情報・状況 共通 高圧 高水 高水・高水	対応行動				実施状況チェック欄	
		行動項目 (第1階層)	行動細目 (第2階層)	実施時刻	終了時刻	開始時刻	終了時刻
レベロ ー1 （3日前準備）	内部調査	種門・排水・取水ゲート操作の準備	今後の見込みの検討	共通 20	<input type="checkbox"/>		
			資機材・機具の準備	共通 20	<input type="checkbox"/>		
			種門・排水機	共通 21	<input type="checkbox"/>		
			排水機場の	共通 22	<input type="checkbox"/>		
			仮設ポンプの準備	共通 23	<input type="checkbox"/>		
			施設管理	共通 24	<input type="checkbox"/>		
			施設操作の準備	共通 25	<input type="checkbox"/>		
			施設の準備	共通 26	<input type="checkbox"/>		
			危険箇所の確認	共通 27	<input type="checkbox"/>		
			指定避難所の状況確認	共通 28	<input type="checkbox"/>		
			指定避難所担当職員の手配	共通 29	<input type="checkbox"/>		
			指定避難所担当職員の手配	共通 30	<input type="checkbox"/>		
			指定避難所担当職員の手配	共通 31	<input type="checkbox"/>		
			指定避難所担当職員の手配	共通 32	<input type="checkbox"/>		
			指定避難所担当職員の手配	共通 33	<input type="checkbox"/>		

ふりかえりの事例

Work1 (振り返り)

STEP1 各自振り返り

「いつ」、「どのような状況の中で」、「何を実施したか」自問自答

STEP2 グループ内発表

STEP1を1人1分で発表



Work2 (検証)

「うまくいったこと」「うまくいかなかったこと」を、各自（機関・部署ごと）で付箋に書き出す



Work3 (グルーピング、改善点抽出)

各自（機関・部署ごと）で考えた、うまくいったこと（今後も活かしたいこと）、うまくいかなかったことを、グルーピングし、タイムラインの効果やタイムラインの改善点を抽出



テーマ2：出水対応を踏まえたタイムラインの改善

＜リアルタイムアンケートを用いて意見を伺います。＞

Q1：各機関において出水対応の振返りを行う際に、タイムラインを活用していますか？

- 活用している
- 活用していない
- 検証・振返りを行っていない

Q2：Q1で「活用している」を選択した場合は、どのようにタイムラインを活用していますか？

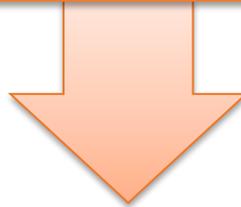
「活用していない」、「検証・振返りを行っていない」を選択した場合は、その理由をお答えください。

（自由記入）

テーマ3：運用支援ツールの改善

課題：運用時の連携がおろそかになっている

- ✓ タイムライン策定時における連携方法として、メールリストやシステムによる情報発信・共有を定めていたが、従来の情報共有方法（県システム、FAX・電話等）により作業が重複する場合もあり、効率的に情報共有が出来ていない。



<振返りの内容>

- ① 情報共有における作業の重複の解消に向けた、Lアラートを活用した防災行動共有システムの自動化について、意見交換する。
- ② WEB会議による情報や危機感の共有に向けて、意見交換する。

防災行動共有システム

Lアラートの活用により改良・追加する機能（参考例）

- Lアラートを活用した場合、「登録機能」、「レベル確認機能」、「発信機能」を改良や、「情報機能」を追加が可能である。

高梁川防災行動共有システム

情報機能を追加

確認 レベル確認 登録 発信 情報 資料 相互リンク アンケート 意見届会

【09月18日 03:30】

「登録機能」、「レベル確認機能」、「発信機能」を改良

想定災害名 台風第14号

TLLレベル 機関区分 行動種別 設定

第1階層：行動項目 (オレンジ)
 第2階層：行動細目 (黄色)
 第3階層：行動手順・内容 (白)

未実施 (赤)
 実施中 (黄緑)
 完了 (青)

TL レベル	No.	防災行動内容	国			
			気象台	河川 事務所	緊急対策 事務所	国道 事務所
0-1		情報の収集				
0-1		気象・台風情報の収集 【継続】				
0-1	1	全般・地方・府県気象情報、台風情報、台風5日進路予報、週間予報の確認		収	収	収
0-1		気象警報・注意報情報の収集 【継続】				
0-1	2	早期注意情報（警報級の可能性）の確認		収	収	収
0-1		タイムライン立ち上げ（レベル0移行）の意思決定				
0-1		今後の方針の検討				
0-1	3	タイムラインの立ち上げ協議（レベル0（3日前準備））				
0-1	4	台風進路予測、早期注意情報等から0hの設定				

防災行動共有システム 登録機能の改良（参考例）

高梁川防災行動共有システム

確認 レベル確認 登録 発信 資料 相互リンク アンケート 意見照会

■ TL進行状況登録

想定災害名: 台風第14号

機関 国 組織・所属 岡山河川事務所

防災行動内容が完了していればタイムライン毎の「完了」ボタンをクリックしてください。

TLレベル絞り込み 設定 該当レベル一括

TLレベル	番号	防災行動内容	行動種別	開始	完了
0-1		情報の収集		開始	完了
0-1		気象・台風情報の収集 【継続】		開始	完了
0-1	1	全般・地方・府県気象情報、台風情報、台風5日進路予報、週間予報の	収	開始	完了
0-1		気象警報・注意報情報の収集 【継続】		開始	完了
0-1	2	早期注意情報（警報級の可能性）の確認	収	開始	完了
0-1		タイムライン立ち上げ（レベル0移行）の意思決定		開始	完了
0-1		今後の方針の検討		開始	完了
0-1	3	タイムラインの立ち上げ協議（レベル0（3日前準備））	◎	開始	完了
0-1	4	台風進路予測、早期注意情報等から0hの設定	◎	開始	完了
0-1	5	防災体制のスケジュールの設定	◎	開始	完了
0-1		意思決定の周知		開始	完了
0-1	6	タイムライン立ち上げ（レベル0（3日前準備））の周知	発	開始	完了
0-1	7	今後の方針の周知	発	開始	完了
0-1		災害対策本部等の設置準備		開始	完了

現状

行動項目の開始・完了は
手動で登録が必要である
ため、手間がかかる。

改良

Lアラートで取得可能な情
報は、**自動で開始・完了**
を登録することが可能

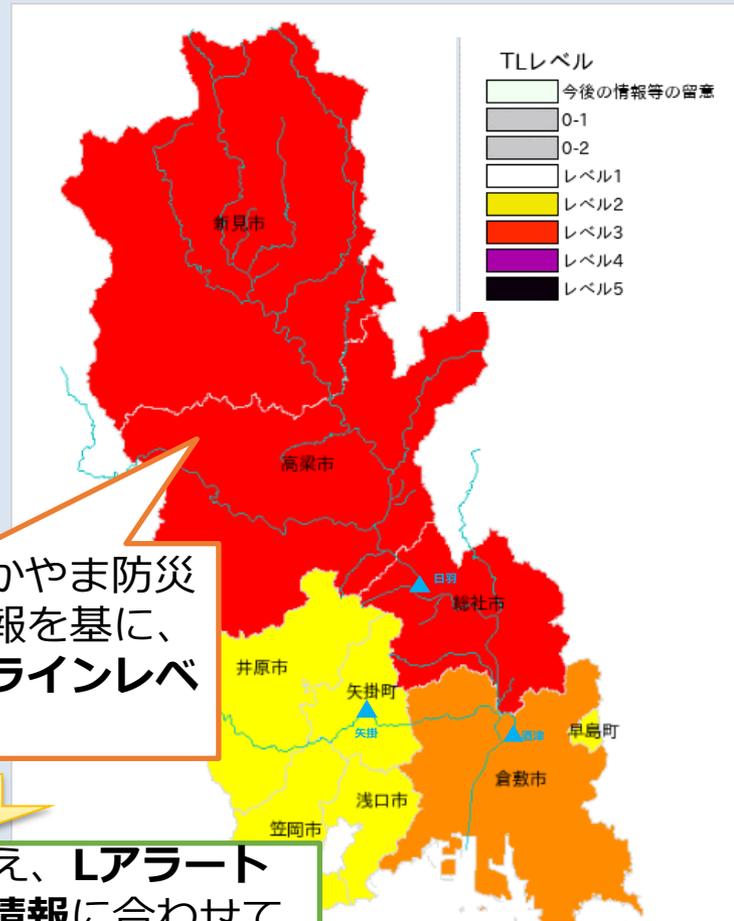
Lアラートで取得できる情報について (1/2)

No	情報種別	内容	配信主体
1	災害対策本部 設置情報	都道府県、市区町村の災害対策本部の設置 or 解散の 情報が発信される。	都道府県、 市区町村
2	避難勧告・ 指示情報	市区町村の避難勧告・指示情報の発表 or 解除の情報 が発信される。 (避難準備、避難勧告、避難指示、災害発生情報、警戒区域が 取り扱われている。)	市区町村
3	避難所情報	避難所の開設・閉鎖等の情報が発信される。	市区町村
4	一時滞在施設 情報	一時滞在施設の開設・閉鎖の情報が発信される。	都道府県、 市区町村
5	被害情報	人的被害、住家被害、火災等の被害にあった対象人数 や世帯数、棟数が発信される。	都道府県、 市区町村
6	お知らせ	交通機関(鉄道やバス等の不通、遅延等)、ライフライン (電気やガス等の停止、復旧等)、生活情報(行政手 続き、福祉、環境、防犯等)、広報、観光・文化(イベ ント)等の情報が発信される。 災害に関するお知らせ(警報、災害情報、注意情報、 事故・故障)と、平時のお知らせ両方がある。 避難勧告・指示情報、避難所情報等、専用のフォーマットが 存在する情報については「お知らせ」ではなく、これら専用 のXMLフォーマットの利用が原則。	自治体/ 企業

Lアラートで取得できる情報について (2/2)

No	情報種別	内容	配信主体
7	イベント情報	催し、講座、試験等のイベント情報が発信される。 （“お知らせ”のジャンルで防災関連のお知らせが発信されている場合があるが、イベント以外のお知らせ情報は、情報種別「お知らせ」（No6）で発信することが推奨されている。）	自治体/ 企業
8	水位周知河川	水位周知河川の氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報の発表 or 解除の情報が発信される。	都道府県
9	河川水位情報	水位観測所のデータ受信状況や現在の水位、増減、規定水位情報（水防団待機水位、はん濫危険水位等）の情報が発信される。	都道府県
10	雨量情報	雨量観測所のデータ受信状況や雨量（10分雨量、時間雨量、累加雨量）等の情報が発信される。	都道府県
11	潮位情報	潮位観測所のデータ受信状況や現在の潮位、増減、警戒情報（警戒潮位、通報潮位、なし）等の情報が発信される。	都道府県
12	緊急速報メール	緊急速報メールが配信された情報が発信される。 （基本的にはLアラート経由で配信された緊急速報メールの結果をLアラートで自動生成するのが主な目的）	市区町村
13	国民保護情報	テロ等のJ-ALERTからの情報が発信される。	J-ALERT （自治体等は発信不可）
14	停電発生状況	停電の状況（エリア、軒数や戸数）、復旧見込み日時等の情報が発信される。	電力会社

防災行動共有システム レベル確認機能の改良（参考例）



	タイムラインレベル相当情報の発生状況		
	洪水・内水	土砂災害	高潮
新見市			
高梁市			
総社市			
井原市			
矢掛町			
早島町			
倉敷市			
浅口市			
笠岡市			

現状

気象庁XML、おかやま防災情報メールの情報を基に、**地図上にタイムラインレベルが自動で反映**

改良

気象庁XMLに加え、**Lアラート**で取得した避難情報に合わせて**図上にタイムラインレベルを自動反映することが可能**

現状

ハザードごとの**タイムラインレベル相当情報**に基づき**レベルを自動表示**

改良

ハザードごとの**タイムラインレベル相当情報**に加え、**Lアラート**に基づき、**避難情報の発令状況、避難所開設情報の自動表示が可能**

※タイムラインの立ち上げ（レベル0-1、0-2）については、**手動操作が必要**

防災行動共有システム 発信機能の改良（参考例）

高梁川防災行動共有システム

確認 レベル確認 登録 発信 資料 相対リンク アンケート 意見募集

[09月18日 03:30] <国：河川 事務所>タイムラインを解除します。

■発信情報（テロップ）

想定災害名 台風第14号

選択	日時	内容	資料
新規登録	2021/11/15 10:08		参照
更新 削除	2021/09/18 03:30	タイムラインを解除します。	参照
更新 削除	2021/09/17 23:59	09月17日 23:44 岡山県気象情報：台風第14号は、岡山県には18日明け方に最も接近する見込みです。土砂災害、浸水害、河川	参照 気象庁 気象情報 2109172344.pdf
更新 削除	2021/09/17 17:52	台風第14号は、岡山県には18日明け方に最も接近する見込みです。高潮に厳重に警戒してください。土砂災害、浸水害、河川の増	参照 気象庁 気象情報 2109171655.pdf
更新 削除	2021/09/17 15:40	9/17（金）タイムラインレベル1へ移行します。	参照 高梁川水害タイムライン 移行.docx
更新 削除	2021/09/17 09:21	南部では、18日明け方までの期間内に、大雨、暴風、波浪警報を	参照 気象庁 警報・注意報
更新 削除	2021/09/17 09:19	【岡山・福山地区】台風 運転取り止めの可能性あり	
更新 削除	2021/09/16 17:42	9/16（木）タイムラインレベル0-2へ移行します。	
更新 削除	2021/09/15 10:45	9/15（水）タイムラインレベル0-1を発動します。	

現状

各機関が共有したい内容を手入力して情報を発信

改良

アラートで取得可能な情報（下表）は、自動的に発信することが可能

区分	タイムラインで共有する行動項目（メールマーク付き）
交通機関	道路通行止めの情報
	鉄道の運行停止情報
	バスの運行停止情報
緊急情報	氾濫発生情報
避難所情報	避難所設置に関する情報
避難情報	避難情報の発令に関する情報
災害対策本部設置情報	災害対策本部等設置の情報
ライフライン情報	停電範囲・復旧見込み
被害情報	—

防災行動共有システム 情報機能の追加（参考例）

高梁川防災行動共有システム

検索 レベル確認 登録 発信 資料 配信リンク アップロード 印刷履歴

[09月18日 03:30] <国: 河川 事務所>タイムラインを解除します。

■発信情報（テロップ）

想定災害名 台風第14号

選択	日時	内容	資料
新規登録	2021/11/15 10:08		参照
更新 削除	2021/09/18 03:30	タイムラインを解除します。	参照
更新 削除	2021/09/17 23:59	09月17日 23:44 岡山県気象情報：台風第14号は、岡山県には18日明け方に最も接近する見込みです。土砂災害、浸水害、河川	参照 気象庁 気象情報 2109172344.pdf
更新 削除	2021/09/17 17:52	台風第14号は、岡山県には18日明け方に最も接近する見込みです。高潮に厳重に警戒してください。土砂災害、浸水害、河川の増	参照 気象庁 気象情報 2109171655.pdf
更新 削除	2021/09/17 15:40	9/17（金）タイムラインレベル1へ移行します。	参照 高梁川水害タイムライン LV1へ移行.docx
更新 削除	2021/09/17 09:21	南部では、18日明け方までの期間内に、大雨、暴風、波浪警報を	参照 気象庁_警報・注意報_17日9時 現在.pdf

現状

発信機能の履歴では、発信順に情報が列挙される。

改良

Lアラートで取得可能な情報を整理して、**災害対策本部設置状況や被害情報を自動表示することが可能**

高梁川防災行動共有システム

音を解除します。

■情報機能

災害対策本部設置状況 被害情報 避難情報・避難所開設情報 CSV

組織名	設置日時	警戒本部	対策本部	記事
岡山県	2021/7/6 9:00	-	●	県内で洪水被害が発生したため。
新見市	2021/7/6 9:00	-	●	市内の河川で氾濫危険水位を超過しているため。
高梁市	2021/7/6 9:00	-	●	市内の河川で浸水被害が発生したため。
総社市	2021/7/6 9:00	●	-	市内で大雨・洪水警報が発令されたため。
井原市	2021/7/6 9:00	●	-	市内で土砂災害警戒情報が発令されたため。
矢掛町	2021/7/6 9:00	●	-	町内で大雨・洪水警報が発令されたため。
早島町	2021/7/6 9:00	●	-	町内で大雨・洪水警報が発令されたため。
倉敷市	2021/7/6 9:00	●	-	市内で大雨・洪水警報が発令されたため。
浅口市	2021/7/6 9:00	-	-	-

高梁川防災行動共有システム

音を解除します。

■情報機能

災害対策本部設置状況 被害情報 避難情報・避難所開設情報 CSV

組織名	発信時刻	人的被害				住宅被害				非住宅被害	その他	り災	火災発生	
		死者	行方不明者	負傷者軽傷	負傷者重傷	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水					床下浸水
岡山県	2021/7/6 9:00	10人	5人	20人	3人	100	200	300	500	1000	●	●	●	●
新見市	2021/7/6 9:00													
高梁市	2021/7/6 9:00													
総社市	2021/7/6 9:00													
井原市	2021/7/6 9:00													
矢掛町	2021/7/6 9:00													
早島町	2021/7/6 9:00													
倉敷市	2021/7/6 9:00													
浅口市	2021/7/6 9:00													

災害対策本部設置状況や被害情報の表示イメージ

テーマ3：運用支援ツールの改善

＜リアルタイムアンケートを用いて意見を伺います。＞

Q1：Lアラートの情報を活用した、防災行動共有システムの改良は、有効だと思いますか？

- 有効だと思う
- 一部機能の改良は有効だと思う
- 有効だと思わない
- 分からない

Q2：Q1で回答した理由をお聞かせください。（自由記入）

テーマ3：運用支援ツールの改善

<リアルタイムアンケートを用いて意見を伺います。>

Q1：タイムライン立上げやレベル移行時における、WEB会議による情報や危機感の共有は、有効だと思いますか？

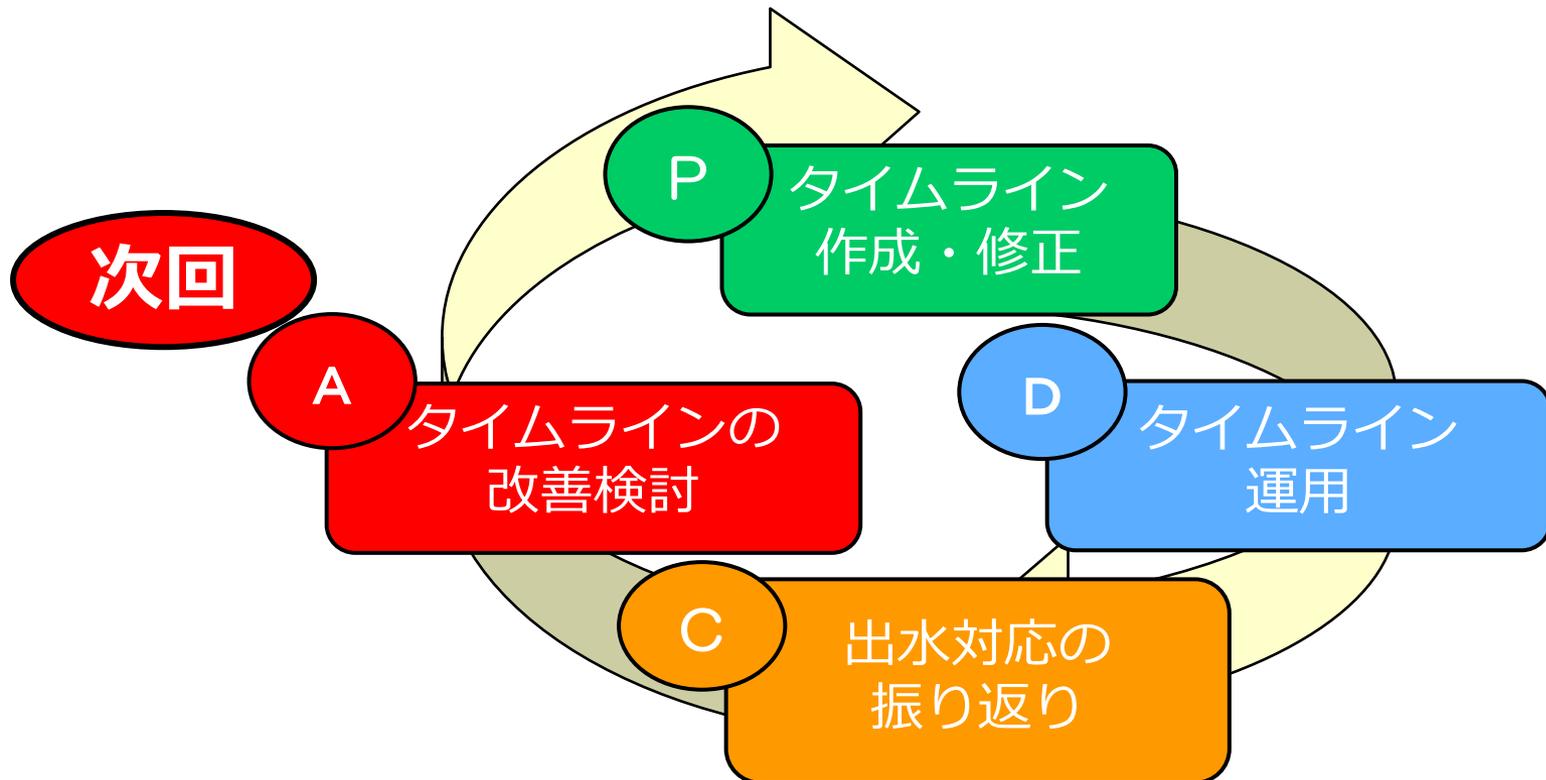
- 有効だと思う
- 有効だと思わない
- 分からない

Q2：Q1で回答した理由をお聞かせください。（自由記入）

5. 連絡事項

今後の予定

- 本検討会の結果を踏まえ、**タイムライン等の改善**を行う。（タイムライン詳細版については、意見照会を実施（次頁参照））
- 改善結果については、改善検討会において共有・報告を予定している。



今後の予定

タイムライン【詳細版】の意見照会

- 自機関の地域防災計画・防災計画等における防災行動項目とタイムライン【詳細版】における防災行動項目との不整合が生じていないか、意思決定のタイミング・条件、行動内容、役割の妥当性が確認をお願いします。
- 不整合等がある場合は、以下に示す事例の通り、「タイムライン変更記録シート」に、修正する防災行動項目に関する「タイムラインレベル」、「項目No」、「修正後の表現」、「役割の修正」、「タイミングの修正」を記入してください。（**提出期限：令和4年2月8日**）

<タイムライン変更記録シートの記入例>

タイムラインレベル	項目No	表現の修正(修正後)	役割の修正		タイミングの修正	
			変更前	変更後	タイムラインレベル(変更後)	移動場所
例1:表現・役割の修正の場合 レベル3	5	関係機関へ水位情報伝達	○	◎		
例2:タイミングの修正の場合 レベル1	35	水防団の出動			2	No47と48の間

タイムライン変更記録シートの提出先：E-mail okayama.bousai@tk.pacific.co.jp FAX (082) 511-1519

問合せ先：岡山河川事務所 防災情報課 大草、平野

TEL(086)223-5196 FAX(086)234-2297

(吉井川水害タイムライン検討会) E-mail : yoshiigawa-timeline@cgr.mlit.go.jp

(旭川水害タイムライン検討会) E-mail : asahigawa-timeline@cgr.mlit.go.jp

(高梁川水害タイムライン検討会) E-mail : takahashigawa-timeline@cgr.mlit.go.jp